



学校HP



創立150周年記念を祝いました 1月17日(金)

<午前の部> 記念行事「学ぼう 天気と防災」 司会進行

- 1 開式の言葉
- 2 講師紹介
- 3 記念行事 出前授業「お天気教室」
NHK ほっとぐんま 630 気象予報士様
- 4 質疑応答
- 5 お礼のことば
- 6 閉式の言葉

第1部は午前 NHK 前橋放送局の気象予報士を講師に迎え「学ぼう 天気と災害」と題した記念講演をおこないました。また、第2部は午後 記念式典を行いました。体育館には子供たちの素晴らしい歌声が響きました。

<午後の部> 豊受小学校創立150周年式典 司会進行

～オープニングセレモニー～ 豊受小金管クラブ

- 1 開式の言葉
- 2 校歌斉唱 指揮 伴奏
- 3 挨拶 校長
- 4 来賓祝辞 教育長
- 5 来賓紹介 PTA会長
- 6 防災学習発表

- 7 近年の豊受小学校のあゆみ
- 8 決意表明「受け継がれる精神」
代表児童
- 9 全員合唱「Believe」
指揮 伴奏
- 10 閉式の言葉



創立150周年記念式典 決意表明 「受け継がれる精神」 6年

「今年はメモリアルイヤー、豊受小学校ができて150年目の記念すべき年だよ。」
4月、先生にこう言われて始まった小学校生活最後の1年。私は、何だか自分のバースデーが2回来るような、ちょっと得した気分を感じていました。それと同時に、「最上級生の名にふさわしい行動をとらなくてはならないな。」と、気が引きしめる思いもしていました。
あの日から9ヶ月が過ぎ、卒業まで残り42日となった今日。お世話になっている地域の方々や先生方に見守られながら、この体育館で「豊小150歳の誕生日」をお祝いできることを心からうれしく思います。
戦争や東日本大震災、コロナ感染拡大など、150年という長い年月の中には、大きな試練の年もありました。けれど、どんな困難にも負けることなく、150年間歩みを続けてきたこの「豊受小学校」を誇り(ほこり)に思います。その時代、時代をたくましく生き抜き卒業された先輩方への尊敬の気持ちは、大きくなるばかりです。
私たちがその歴史の1ページとなると考えたとき、豊受小のよき伝統を引き継ぐことができているのか少し不安もありますが、私たちのよいところを3つ挙げてみます。
まず一つめは、「毎日、元気よくあいさつできていること」です。にっこり笑顔で「おはよう。」と友達に言えた日は、心がすっきり明るくなります。少し眠くてもぱっと目が覚め、「今日も一日がんばろう。」と、やる気エネルギーがみなぎります。
次に挙げるのは、「誰にでもやさしくできること」です。この学校には、様々な国にルーツをもつ友達がいいます。言葉の壁もいっしょに乗り越え、すぐとなりで寄りそってくれる、心の温かい友達がたくさんいます。そして、三つめは、授業や行事、掃除や遊びなど、「どんなこともみんな協力して取り組めること」です。授業中、難しい問題もみんなと頭をひねって一生懸命考えます。級友や先生と意見を交わすことはとても楽しいものです。みんなで考えると、新しいおどろきや発見があります。全校みんなで力を合わせてがんばった運動会は、大成功を収めました。協力できたことはたくさんありましたが、特に印象強く心に残っていることは、「ボランティア精神」が育っていると感じた場面です。秋、この学校にはたくさんの落ち葉が積もります。特に、東玄関前には毎朝、北風が運んできた落ち葉の山ができます。登校後、玄関のかぎが開くまでの数十分の間、1年生や3年生といっしょに落ち葉をはいて袋に入れ、ごみ置き場まで運んで片付けました。最初、手伝う人は3、4人でしたが、日を重ねるごとに多くの人がいっしょに落ち葉集めをしてくれるようになりました。私はその時、とても幸せな気持ちになりました。労務技士さんからも「ありがとう。」と言われ、うれしい気持ちでいっぱいになりました。こういうところがこの学校のよいところだなと思っています。
これからこの学校に入学してくる下級生たちが、「私の学校大好き。」と言ってくれたら、とてもうれしいです。そのために私たちに何ができるのか分かりませんが、今できることをみんなといっしょに考え、行動していきます。

